

## Dedicated to the Fight against Disease and Pain

### 病気と苦痛に対する人間の闘いのために

当社は、この企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、挑戦を続けています。



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第74期第2四半期累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)につきましては、抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」の非小細胞肺癌一次治療や食道がん二次治療での使用が拡大するとともに、糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォーシーガ錠」等の主要新製品の売上が堅調に推移しました。また、ロイヤルティ収入が増加したことで、売上収益は増収となりました。

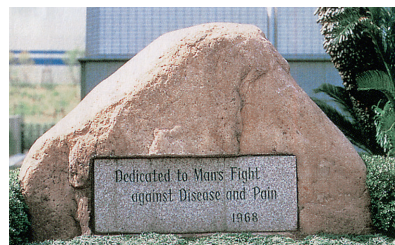
利益面については、開発活動の回復などに伴い研究開発費が増加するとともに、積極的なWeb講演会実施や新製品の発売および効能追加に係る費用の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、売上収益の増加により増益となりました。

新薬創製の成功確率が年々低下し、研究開発コストが増大するなかで、国内においては医療費を抑制するための種々の薬剤費抑制政策が推し進められており、新薬開発メーカーにとっては引き続き厳しい環境が続いています。当社は、研究開発力をさらに高めるとともに、海外での事業展開拡大にむけて、次のとおり取り組んでいきます。

## 成長戦略

製品価値 最大化	積極的な研究開発活動により、早期の上市および効能追加取得を図ります。また、製品ライフサイクルのステージごとの環境変化を機敏に捉え、常に競争優位性を担保しうる戦略立案を実現することにより、上市から最短でピークセールスを達成し、各製品のポテンシャルを最大限引き出せるよう取り組んでいます。
研究開発の 強化	医療ニーズの高い疾患領域を重点領域に据えて疾患専門性を高め、オープンイノベーションの取り組みを推進するとともに、インフォマティクス技術、ヒト疾患モデル作製技術などの創薬テクノロジーを活用して自社創薬を推進しています。
海外への挑戦	当社の新薬を世界中の患者さんに提供できるよう、まずは大規模な営業組織を必要としないニッチな領域の製品について、海外での自社販売を目指して取り組んでいます。すでに、韓国・台湾では、現地法人を設立して製品の販売を行っています。欧米については、今後の自社販売を視野に入れた開発を含めた体制の整備・強化に取り組んでいます。
企業基盤の 強化	企業価値を向上させ、持続的に成長するために、継続的に企業基盤の強化に取り組んでいます。また、さまざまな環境の変化に対応し、グローバル化を牽引できる人材育成や多様性向上を推進するとともに、すべてのステークホルダーに対する社会的責任を果たすべく、Environment（環境）、Society（社会）、Governance（企業統治）への取り組みも強化しています。

わたしたちは、病気で苦しんでいる世界中の患者さんに、医療現場のニーズに沿った革新的な新薬を一日も早くお届けできるよう、一丸となって挑戦を続けていきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



1968年（昭和43年）に中央研究所（現在の水無瀬研究所）の建設を記念して建立された、「企業理念」が刻まれた石碑。

代表取締役社長 **相良 暁**